

**ITCイースト東京 分科会2**

# **Society5.0/SDG's概要**

～ITコーディネータはどのように準備したらよいのか～

2019年11月18日

ITCイースト東京

三宅ひろみ

稲葉涼太

小幡知行

藤井新吾

# 分科会2勉強会について

## ①2019年度の勉強会テーマ： 「Society5.0」「副業2.0」の研究

- 今年度は、1年間を通したテーマを決め、メンバー全員で学習する方式を採用。より会員交流できるテーマにしたい。→「Society5.0」「副業2.0」の研究。
- まずは、「Society5.0」と「Society5.0 for SDGs」の研究にとりかかる。  
Society5.0やSDGsは、ITCには興味あるテーマであり、色々な意味で示唆を得る。

## ②進め方：

- 月例勉強会 年10回 で研究
- 分科会2メンバー内の講師から内容を共有いただき、ITCがどのように活用していくか、メンバーの意見交換により深めていく。

4～6月 テーマおよび進め方の検討

7月 小幡講師 Society5.0概要

8月 稲葉講師・藤井講師 SDGs概要

9月 小幡講師 Society5.0 以降、交替で継続中。

- 「Society5.0」と「SDGs」の研究成果を報告。

•発表→11/18 分科会1 中間報告→2020/2/18 分科会2主催勉強会

•ITCイースト東京のホームページに掲載

# 目次

1. **SDGs概要** (稲葉)
2. **Society5.0とは** (小幡)
3. **コレクティブ・インパクト** (藤井)

ITCイースト東京 分科会2

# SDGsの概要

～なぜ今私たちにSDGsが大事か？

2019年11月18日  
ITCイースト東京  
稲葉涼太

# イントロダクション

## 「人」と「ソーシャル」をテーマにパラレルキャリアの実践中



氏名	稲葉 涼太 (いなば りょうた)		
所属	【本職】 <ul style="list-style-type: none"><li>株式会社FlexasZ ゼネラルマネージャ</li></ul> 【外部所属】 <ul style="list-style-type: none"><li>PMI日本支部 ソーシャルPM研究会副代表</li><li>国土館大学 講師</li></ul>	資格	<ul style="list-style-type: none"><li>PMI認定PMP(Project Management Professional)</li><li>ITコーディネータ</li><li>キャリアコンサルタント(国家資格) /産業カウンセラー</li><li>Scrum Alliance認定スクラムマスター/プロダクトオーナー</li><li>ファイナンシャルプランナー(AFP)</li><li>2030SDGs認定ファシリテータ</li><li>Management3.0認定ファシリテータ</li></ul>
自己紹介	<ul style="list-style-type: none"><li>大手上場Sierから大手コンサルティングファームを経て、ベンチャー人事・ITコンサルティングファームの設立メンバー</li><li>専門は人事業務と人事システムとのコンサルティングおよび、プロジェクトマネジメントコンサルティング。</li><li>他方、キャリアコンサルタントや産業カウンセラーとして、主にIT人材の幸せな働き方やキャリア構築支援を手掛ける</li><li>また、SDGs普及や推進のためのワークショップや研修講師などを行う</li></ul>		

**本日は社会課題意識を持ち、ITCとPMの知見・経験を有するコンサルタントの立場でSDGsの講演を行います**

- SDGs概要

- SDGs実現のためのCSV(Creating Shared Value)概要

- SDGs実現のためコレクティブインパクト概要

# SDGs概要

# SDGsとは

- SDGs (エスディー・ジーズ) とは

**Sustainable  
Development  
Goals**

－ 持続可能な  
－ 開発  
－ 目標

ずっと「続ける」べき  
人類「発展」のための  
「目標」

の略称です。

- 2015年9月の国連サミットで 加盟国193カ国 満場一致で採択されました



- 国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成する行動計画です
- 2030年に向けた17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲット、そして232の指標で構成されています
- 「絵にかいた餅」にならないよう、ゴールを起点に「今 なにをすべきか？」という指標が示されています →

## バックキャストिंग





細分化された指標





## 1. 貧困をなくそう

あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



## 4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的(※)かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



## 2. 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



## 5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



## 3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



## 6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



## 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに

すべての人々に手ごろで信頼でき、  
持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

8 働きがいも  
経済成長も



## 8. 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



## 9. 産業と技術革新の基盤をつくらう

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

10 人や国の不平等をなくそう



## 10. 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

11 住み続けられる  
まちづくりを



## 11. 住み続けられるまちづくりを

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

12 つくる責任  
つかう責任



## 12. つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

13 気候変動に  
具体的な対策を



## 13. 気候変動に具体的な 対策を

気候変動とその影響に立ち向かう  
ため、緊急対策を取る

16 平和と公正を  
すべての人に



16. 平和と公正をすべての人に  
持続可能な開発に向けて平和で包摂  
的な社会を推進し、すべての人に司法  
へのアクセスを提供するとともに、あらゆる  
レベルにおいて効果的で責任ある包  
摂的な制度を構築する

14 海の豊かさを  
守ろう



## 14. 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を持続可能な  
開発に向けて保全し、持続可能  
な形で利用する

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



## 17. パートナーシップで目標を 達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を  
強化し、グローバル・パートナーシップを  
活性化する

15 陸の豊かさ  
も守ろう



## 15. 陸の豊かさ も守ろう

陸上生態系の保護、回復および持  
続可能な利用の推進、森林の持続  
可能な管理、砂漠化への対処、土  
地劣化の阻止および逆転、ならびに  
生物多様性損失の阻止を図る

## SDGsの捉え方 ～誰一人取り残さない世界～

➤ 先進国だけ、途上国だけの問題ではない



■ 1つの目標が、ほかの目標と相互に結びついて連動しています

## 2. 飢餓をゼロに

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



ターゲット	指標(仮訳)
<p><b>2.3</b> 2030年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。 By 2030, double the agricultural productivity and incomes of small-scale</p>	<p><b>2.3.1</b> 農業/牧畜/林業企業規模の分類ごとの労働単位あたり生産額 Volume of production per labour unit by classes of farming/pastoral/forestry enterprise size</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p> </div> </div>	<p><b>2.3.2</b> 小規模食料生産者の平均的な収入(性別、先住民・非先住民の別) Average income of small-scale food producers, by sex and indigenous status</p>
<p><b>2.4</b> 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱(レジリエント)な農業を実践する。 By 2030, ensure sustainable food production systems and implement</p>	<p><b>2.4.1</b> 生産的で持続可能な農業の下に行われる農業地域の割合 Proportion of agricultural area under productive and sustainable agriculture</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>15</b> 陸の豊かさも守ろう</p> </div> </div>	

## 17の目標は相互に結びついて連動する



参照 : SDGs "wedding cake" illustration presented by Johan Rockström and Pavan Sukhdev

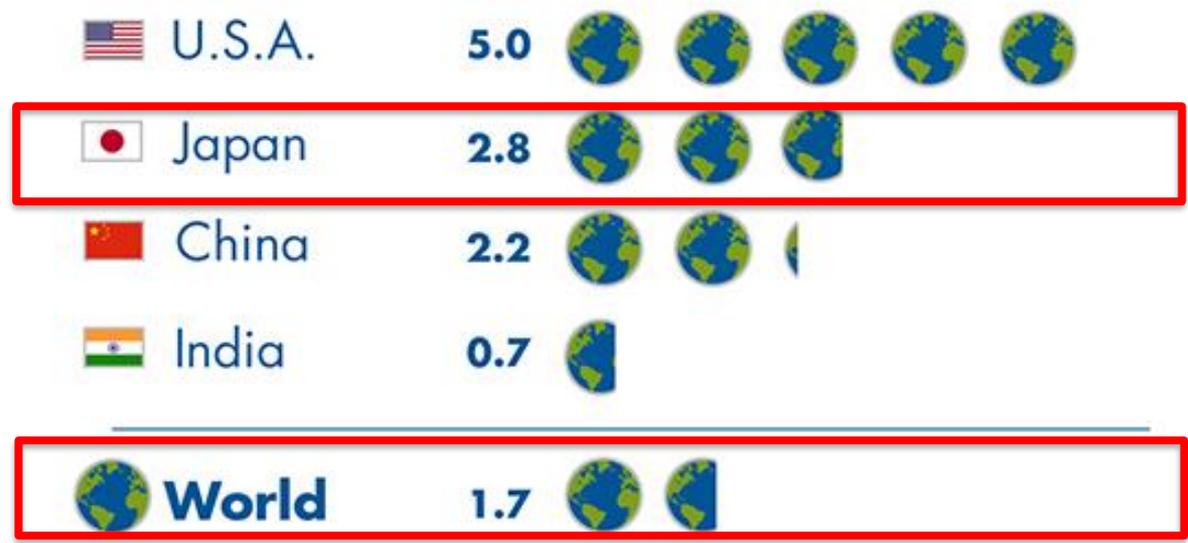
# なぜSDGs？

# 地球1.7個分の消費

←ちなみに日本の生活を世界がすると地球2.8個分

## 地球は何個必要？

もし世界人口がその国と同様の生活をしたら...



Source: Global Footprint Network National Footprint Accounts 2018

# なぜSDGs?

## ■ ビジネスシーンもSDGsを重視

東証一部上場企業を中心に構成され、1400社以上が加盟している経団連が、2017年11月8日に7年ぶりに、SDGs達成を前面に企業行動憲章を改定しました。



企業行動憲章の主な改定ポイントと関連するSDGsの目標の例	
サブタイトルを「持続可能な社会の実現のために」へ変更	
イノベーションを発揮して、持続可能な経済成長と社会的課題の解決を図ることを新たに追加（第1条）	8 働きがい、経済成長
人権の尊重を新たに追加（第4条）	10 人や国の不平等の解消
働き方の改革の実現に向けて表現を追加（第6条）	8 働きがい、経済成長
多様化・複雑化する脅威に対する危機管理に対応（第9条）	16 平和と公正な社会
自社・グループ企業に加え、サプライチェーンにも行動変革を促す（第10条）	17 パートナーシップで目標を達成しよう
そのほか、実行の手引きにおいて、SDGsの達成に資するアクション・プランの例やコラムを追加	

## ■ 機関投資家もESG投資とSDGsを重視

- GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）は、2015年9月28日に、PRI（国連が定めた責任投資原則）に署名し、投資家の視点からもESGに配慮した企業への投資がさらに高まっている。
- ESG投資に代表されるように、環境・社会へのプラス／マイナスの影響に対する企業の責任が問われ、同時に社会・環境問題解決に対する企業への期待も大きくなっている。

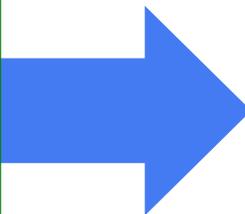
### Environment、Social、Governance



**GPIF**  
(年金積立金管理運用独立行政法人)

日本において厚生年金と国民年金の年金積立金を管理・運用する機関

運用資産額は**150兆円**で世界最大の投資規模。



2015/9/28  
署名



**PRI**  
(責任投資原則：Principles for Responsible Investment)

国連が定めた原則で、解決すべき課題をEnvironment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の3つの分野（総称してESGと呼ぶ）に整理し、ESGに配慮した責任投資を行うことを宣言したもの

投資家のESG投資やSDGsに対する関心は益々高まっている

## ■ 世の中全体の認知度はまだ20%前後

2019/3/13

【SDGs認知度調査 第4回報告】

SDGsを「聞いたことある」上向き19%に  
17目標は関心が高まる項目増える

ツイート いいね! 3,049 シェア B! 1



[https://miraimedia.asahi.com/sdgs\\_survey04/](https://miraimedia.asahi.com/sdgs_survey04/)

## ■ しかし上場企業ではもう常識

ESG投資

2019.05.30

上場企業のSDGsの認知度はほぼ100%に、「気候変動」問題への関心高まる。GPIF調査



<https://hedge.guide/news/sdgs-gpif-201905.html>

## ■ 世界規模では市場総額3500兆円ともいわれる

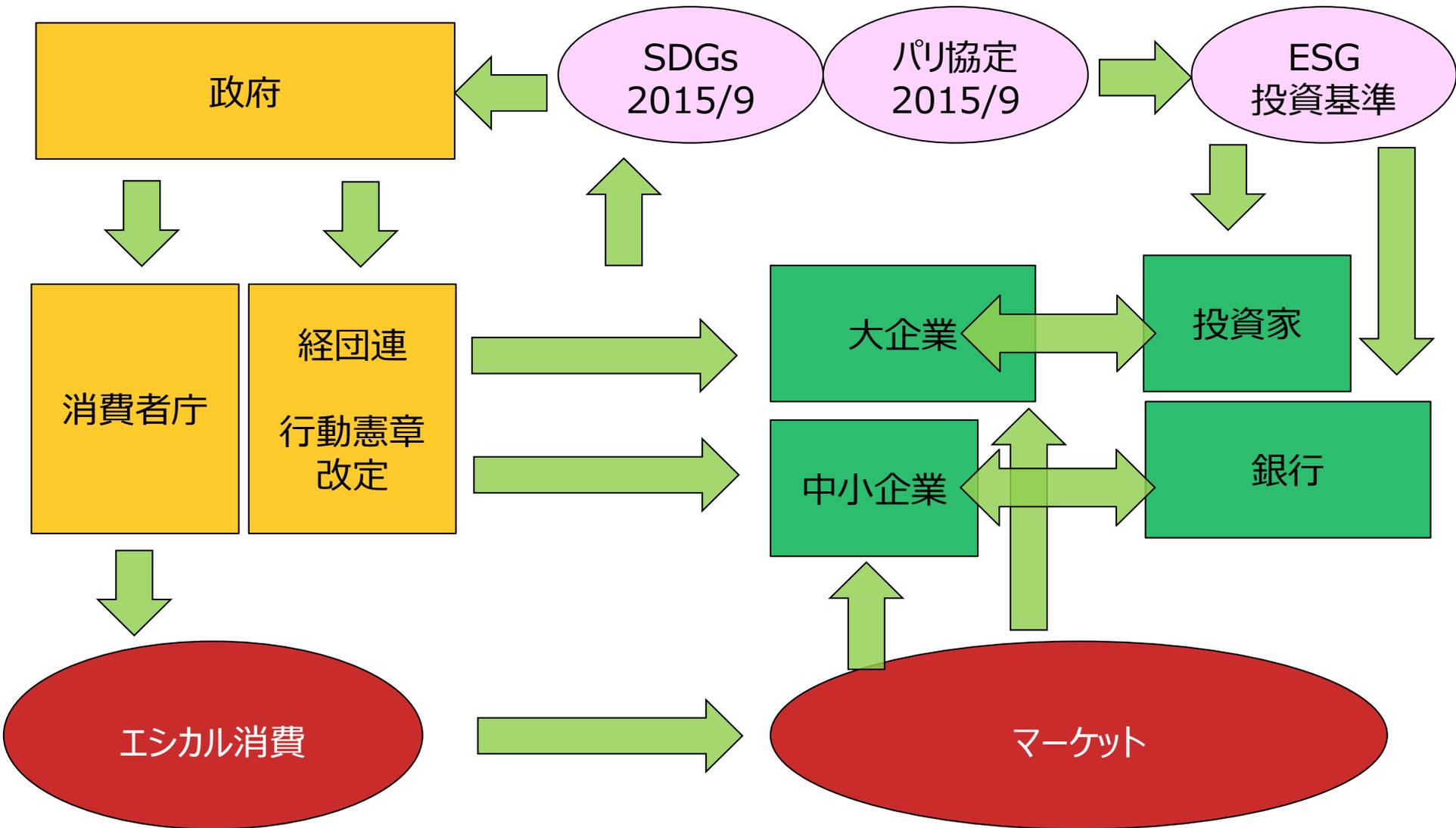
<SDGsの各目標の市場規模試算結果(2017年)>



SDGsビジネスに意識的に取り組んでいない企業も、実際は既にSDGsに繋がる製品・サービスを保有していることもある。  
 関連企業がSDGs達成に向けて連携を強めることにより、新たな市場の獲得が可能となる

中小企業には  
関係ない？

## マーケットのゲームチェンジ



SDGs実現のための  
CSV  
(Creating Shared Value)

概要

SDGsはスローガンやボランティアだけではなく  
ビジネスとしても重要キーワード

SDGsをビジネスとして実現する  
キーワードが『**CSV**』

Creating Shared Value  
(共有価値創造)

- ポーターとクラマー(2011)は、21世紀の資本主義において、持続可能な成長のためには、経済価値と社会価値を同時に創出する、**CSV（共有価値の創造）**の考え方の重要性を強調している。
- ✓ 「**社会価値と経済価値**の双方を追求することこそ、次世代の**資本主義の目指すべき姿**」
- ✓ 「**社会課題の解決が次のビジネス要素**」
- ✓ CSVはこれからの**競争に勝ち抜くために不可欠なモデル**

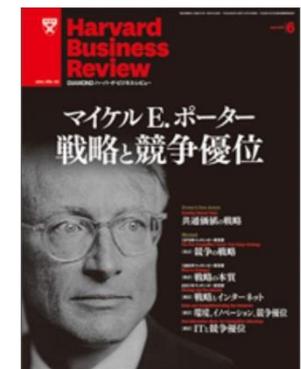
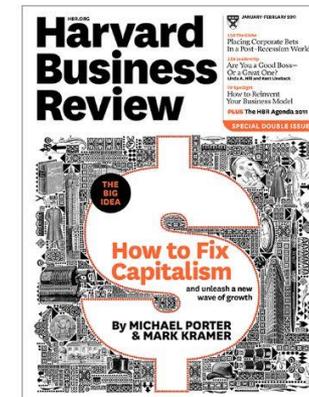


Michael E. Porter



Mark R. Kramer

January-February 2011 Issue



Diamond Harvard Business Review  
2011年6月号

## 【背景：企業を取り巻く環境の変化】

- ESG投資に代表されるように、環境・社会へのプラス／マイナスの影響に対する企業の責任が問われ、同時に社会・環境問題解決に対する企業への期待も大きくなっている。
- 企業には、**CSR(企業の社会的責任)**、だけでなく**CSV(共有価値創造)**が期待される
- 企業独自の資源や専門性を活用し、社会価値を創出することで経済価値を生み出すことが大事



## ビジネスで社会課題を解決

### CSRとCSVの違い

比較項目	CSR	CSV
求める価値	善行	経済的便益と社会的便益
活動のきっかけ	シチズンシップ フィランソピー (ボランティア) 持続可能性	企業と地域社会が 共同で価値を創出
利益との関係	最大化とは別物	最大化に不可欠

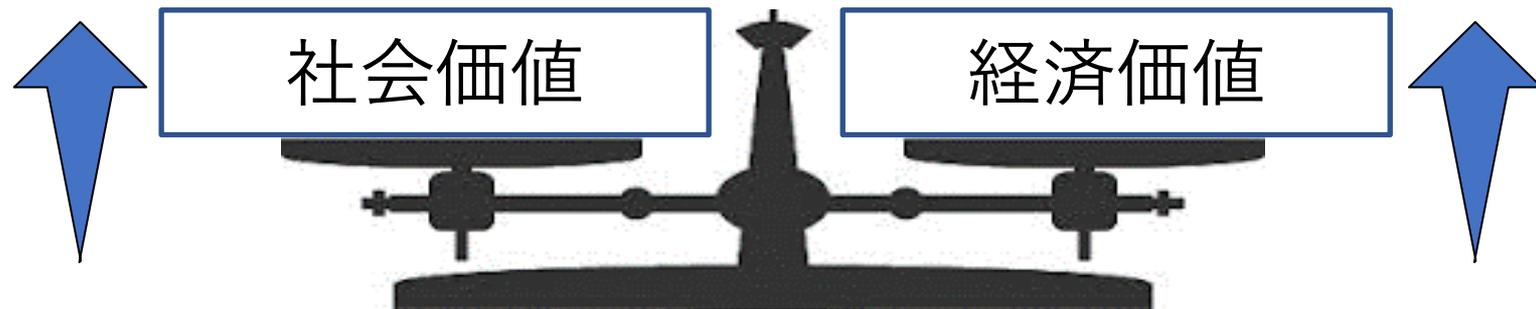
## 【背景：世界的な潮流の変化】

- SDGsに代表されるような社会課題の解決を目標とした場合、既存の境界線を越えて、様々なステークホルダー（政府、国際機関、企業、NPO、消費者、労働者など）がコラボレーションするよう、グローバル・ガバナンスのあり方が変わってきている。

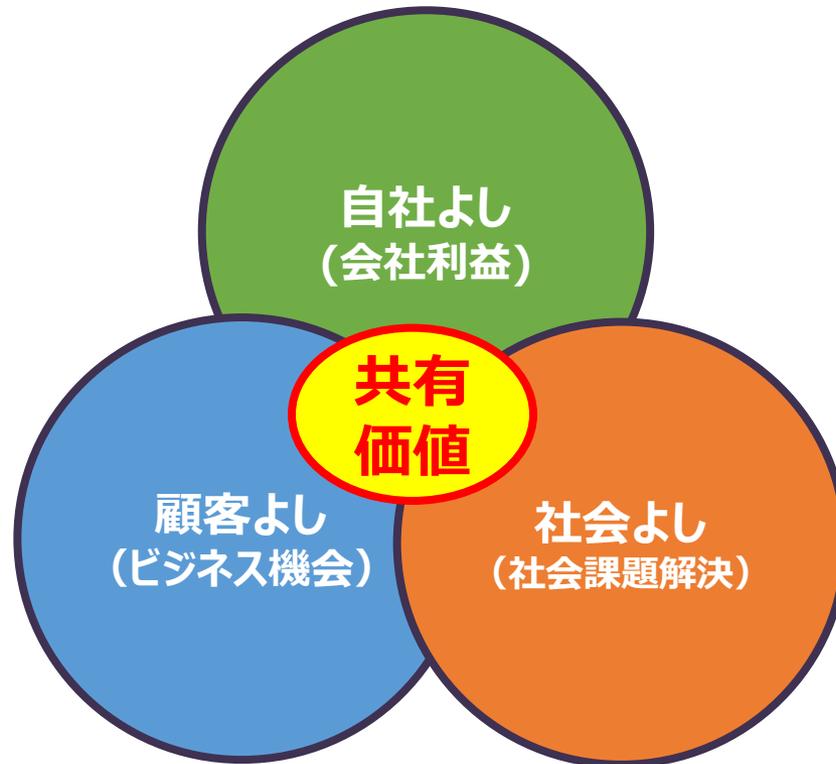


## ■ CSVの要諦：経済価値・社会価値の両方の向上

- 経済価値と社会価値を**同時に追求して実現**すること。
- 経済価値と社会価値が天秤の左右でバランスしながらスパイラルアップ
  - 単につり合いを採るだけでなく、経済価値と社会価値が相互に影響し、**スパイラルアップしながらダイナミックに価値を創出**することが大事。
  - **本業のど真ん中で、社会課題を解決する事業を展開**すること。  
それによって**次世代の競争優位を勝ち取る**
  - いか**に社会的価値と経済的価値をトレードオフとせずに、**  
**ウィン・ウインの関係に持ち込む**ことがCSV経営の要諦となる。



## <SDGsとCSVの三方よし>



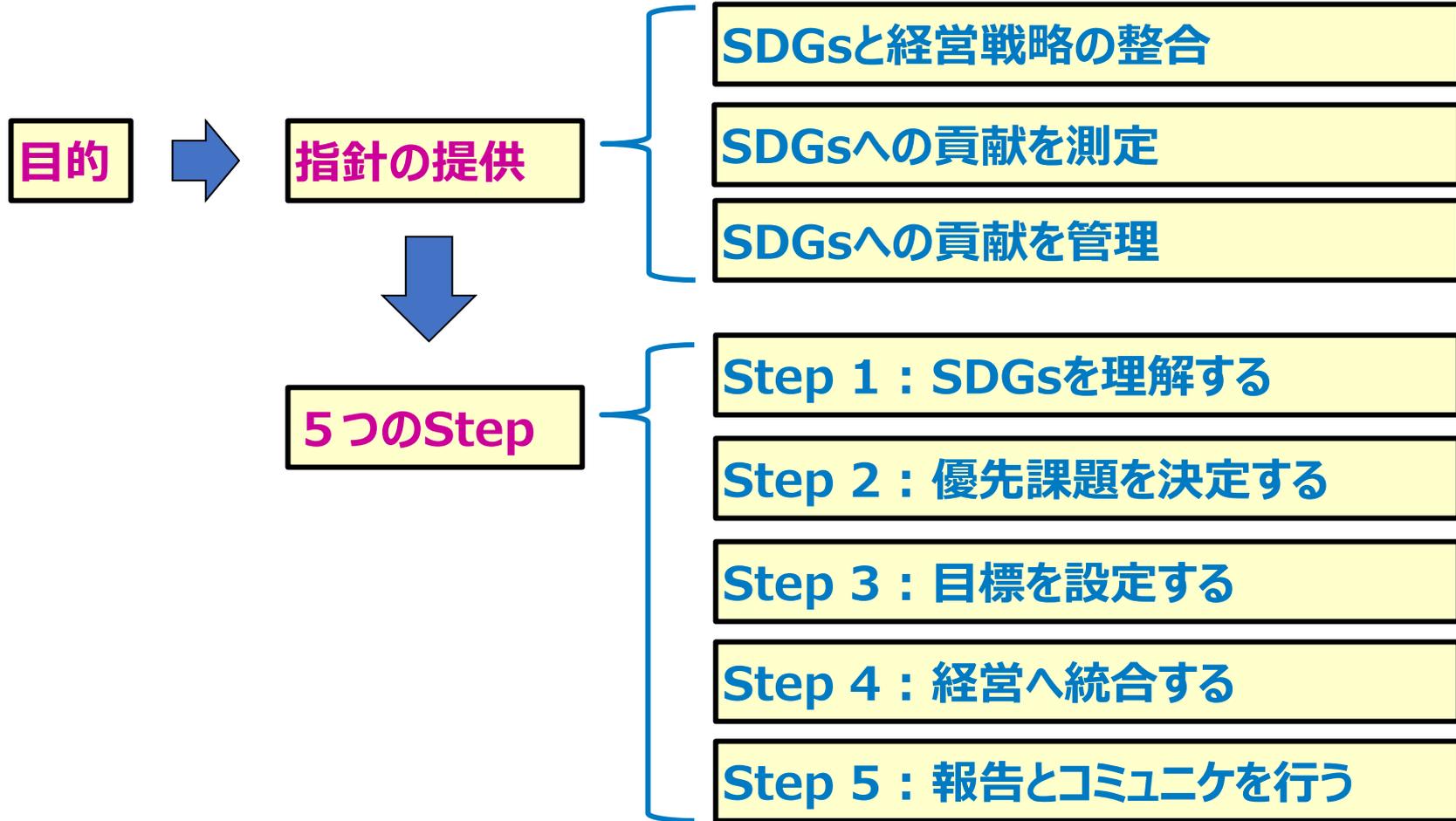
# SDGs事業化のための指針 『SDG コンパス』

## ■ SDG コンパスとは何か

- 企業が SDGs を経営戦略と統合させ、SDGs への貢献を測定し管理するために提供される指針
- 以下の3団体が作成
  - ・GRI (Global Reporting Initiative)
  - ・UNGC (The United Nations Global Compact : 国連グローバル・コンパクト)
  - ・WBCSD (World Business Council for Sustainable Development : 持続可能な開発のための世界経済人会議)



## ■ SDG コンパスとは何か



# 『SDGsウォッシュ』

実態が伴っていないのに、  
上辺だけSDGsへ対応しているように見せかけ、  
イメージだけを自社PRに使用する行為を、揶揄する言葉

## 一昔前は…

自社の既存事業とSDGsの17アイコンを結び付け  
特に何かSDGsに取り組んでいなくても  
後付けアイコンマッピングで  
「SDGsやっています」という企業もあった



そういう投資報告を  
投資家は許さない時代

## ■ **GRI** (Global Reporting Initiative) の持続可能性に関する報告の **10の原則**が報告とコミュニケーションの原則として有用とされている

01	<b>ステークホルダーの包摂</b>	報告組織は、ステークホルダーを特定し、その合理的な期待や関心にどう応えてきたかを説明しなければならない。
02	<b>サステナビリティの文脈</b>	報告書は、サステナビリティという、より広い文脈の中で報告組織のパフォーマンスを提示しなければならない。
03	<b>マテリアリティ(重要性)</b>	報告書は報告組織が経済、環境、社会に与える著しいインパクトを反映している項目、またはステークホルダーの評価や意思決定に対して実質的な影響を及ぼす項目を記載しなければならない
04	<b>網羅性</b>	報告書は、経済、環境、社会への著しいインパクトを反映するとともに、ステークホルダーが報告期間中における組織のパフォーマンスを評価するのに十分な、マテリアルな項目およびその該当範囲を包含していなければならない。
05	<b>正確性</b>	報告書の情報は、ステークホルダーが報告組織のパフォーマンスを評価するのに十分な正確さと詳細さを備えていなければならない。
06	<b>バランス</b>	総合的なパフォーマンスを適正に評価するため、報告書には報告組織のパフォーマンスにおけるポジティブ面とネガティブ面を記載しなければならない。
07	<b>明瞭性</b>	報告組織は、報告書を利用するステークホルダーが理解しやすく、入手しやすい形で情報を提供しなければならない。
08	<b>比較可能性</b>	報告組織は、一貫性を保って情報の選択、編集、報告をしなければならない。情報は、ステークホルダーが組織のパフォーマンスの経年変化を分析でき、他の組織と関連させた分析が容易になるような形で提示しなければならない。
09	<b>信頼性</b>	報告組織は、報告書の作成に用いた情報およびプロセスを、検証可能な方法で、また情報の品質とマテリアリティを確立できる方法で、収集、記録、編集、分析、報告しなければならない。
10	<b>適時性</b>	報告組織は、ステークホルダーが確かな情報に基づく意思決定を行えるタイミングで情報を入手できるよう、定期的に報告しなければならない。

# SDGs実現のための コレクティブインパクト概要

SDG Compassによると  
調査の結果90%の回答者が  
『持続可能性の課題は企業単独では効  
果的に対処することはできない』  
と回答した

※調査対象となった3万8,000人の企業の役員・管理職およびオピニオンリーダーの回答

SDGs実現は  
一企業単体ではなく  
多くの関係者を  
巻き込むのが重要

## 1. コレクティブインパクトの特徴

- 複雑化した社会課題は、企業や行政、NPOなどが単独で解決するのが難しい時代である
- そこで、行政、企業、NPO、など異なるセクターにおける様々な主体が、共通のゴールを掲げ、お互いの強みを出し合いながら社会課題の解決を目指すアプローチをとる潮流が出来た
- このようなアプローチを『コレクティブインパクト』と呼ぶ

孤立したインパクト  
(Isolated Impact)

### <概要>

単独の組織が、個別に特定の社会課題の解決に取り組むアプローチ

### <特徴>

単純な社会課題は一組織によって解決が可能であるが、現代の複雑化・相互依存化した社会においては、単独の組織や個人による取り組みだけでは限界がある

集合的インパクト  
(Collective Impact)

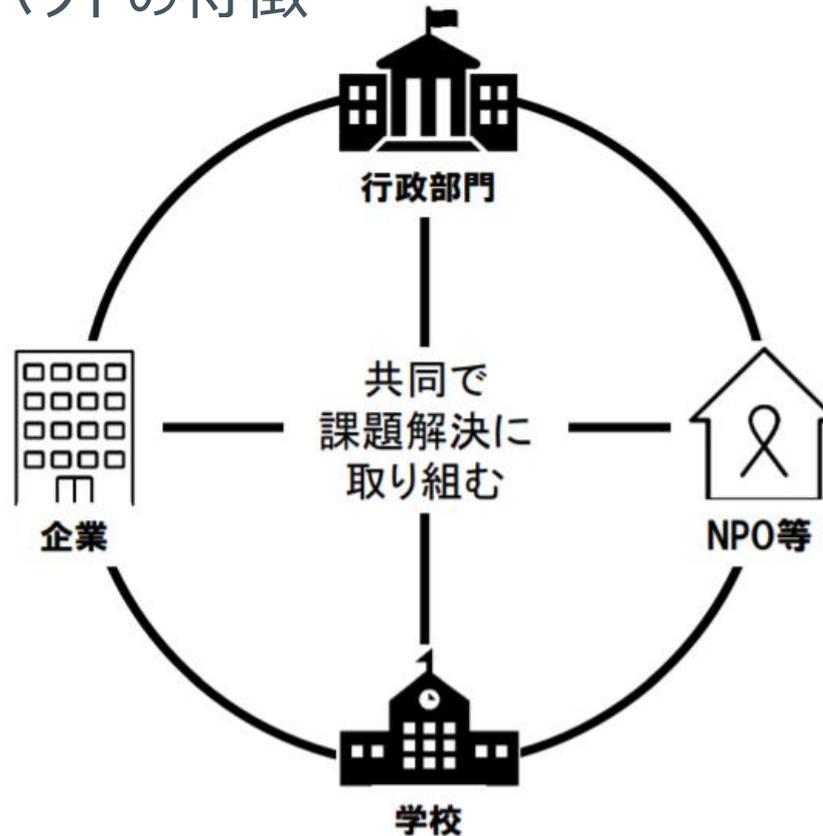
### <概要>

異なるセクターの様々な主体が、共通のゴールを掲げ、特定の社会課題の解決に取り組むアプローチ

### <特徴>

社会課題の根本解決に向けて経営資源を集中的に投下するため、時間はかかるが、大規模な社会変革を起こすことができる

## 1. コレクティブインパクトの特徴



[https://www.meti.go.jp/meti\\_lib/report/H29FY/000405.pdf](https://www.meti.go.jp/meti_lib/report/H29FY/000405.pdf)

## 2. コレクティブインパクトの要件

01	共通のアジェンダ	全ての参加者が変革に向けたビジョンを共有していること
02	共有された評価システム	データ収集と効果測定により、取り組みを評価するシステムを共有していること
03	相互強化の取り組み	参加者個々の強みを活かし取り組みを相互に補完し合えること
04	継続的なコミュニケーション	信頼形成に向け継続的かつオープンなコミュニケーションが行われていること
05	取り組みを支える組織	取り組み全体をサポートする独立した組織体があること

**単なるその場限りの一過性の協業ではない  
共通のアジェンダを持ち継続性を支える仕組みが大事**

## ITCイースト東京 分科会2

国の政策から見る

今さら聞けない **Society5.0**

2019年11月18日  
ITCイースト東京  
小幡知行

1. **Society5.0 って何？**
2. **世界から見たSociety5.0**
3. **ITコーディネーターとして**



いろいろ出てきます

**Society5.0**

# 閣僚会議：第30回未来投資会議〈令和元年9月〉

## 次なる成長戦略に向けた議論



第一に、**Society5.0の実装**です。

第二に、デジタル市場のルール整備です。

第三に、モビリティ分野や金融分野での取組です。  
**Society5.0の技術**を利用した具体的解決。

第四に、地域のインフラ維持と競争政策の検討です。

経団連・中西会長

Society 5.0とともに創造する未来



Society 5.0 for SDGs で目指す未来。

Society 5.0 は必ず日本の強みになる。

イノベーションで課題先進国を克服する。

他国での取り組みとは一線を画す。

## Society5.0時代の持続可能な 地域社会の構築に向けて

令和2年度の総務省の  
重点施策  
概算要求

### II Society5.0時代の地域社会

Society5.0を  
支えるICTインフラ整備

産業の高度化・  
新規産業の創出

海外展開・  
国際的な政策連携

豊かなライフスタイルに  
資する生活支援

サイバーセキュリティの  
強化、ICTの安心安全  
確保

デジタル・ガバメント  
による行政の高度化・  
効率化

Society5.0を  
支える人づくり

多様な働き方

令和2年概算要求にて  
Society関連予算を申請

# Society5.0時代の地方

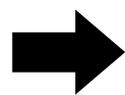


ところで

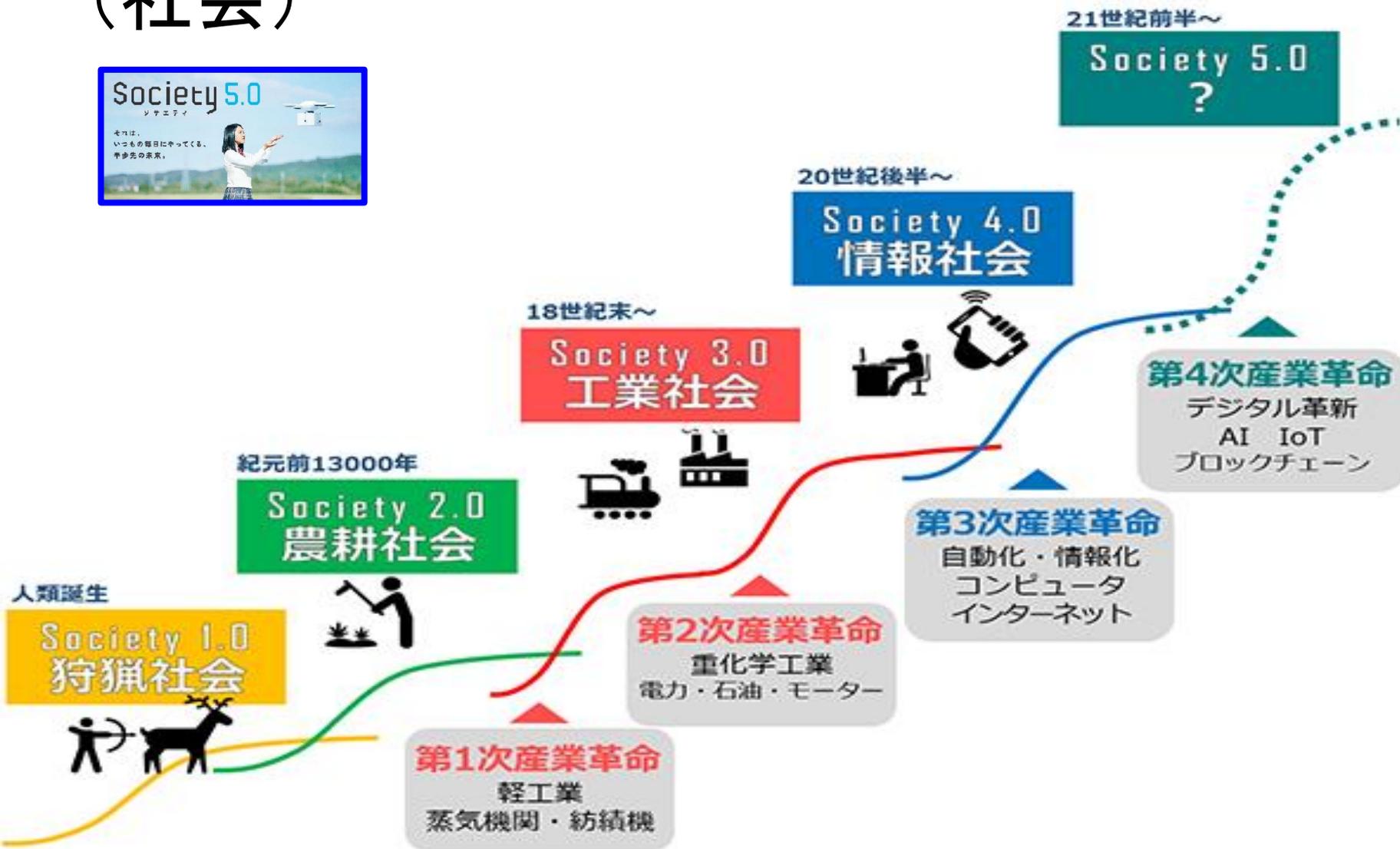
Society5.0

ってなに？

# Society 5.0 (社会)



# ソサエティ5.0



# これまでの情報社会(4.0)



# Society 5.0



[内閣府作成]

# Society5.0とは？

サイバー空間（仮想空間）

と

フィジカル空間（現実空間）

を

高度に融合させたシステムにより  
経済発展と社会的課題の解決を両立する

人間中心の超スマート社会

# Society5.0で実現する社会

これまでの社会

知識・情報の共有、連携が不十分



IoTで全ての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会

これまでの社会

地域の課題や高齢者のニーズなどに十分対応できない



イノベーションにより、様々なニーズに対応できる社会



## Society 5.0

AIにより、必要な情報が必要な時に提供される社会

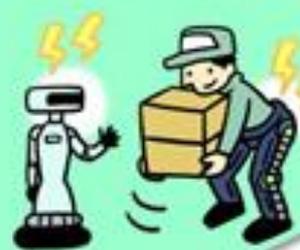


これまでの社会

必要な情報の探索・分析が負担  
リテラシー（活用能力）が必要



ロボットや自動走行車などの技術で、人の可能性がひろがる社会



これまでの社会

年齢や障害などによる、労働や行動範囲の制約



# Society 5.0による 人間中心の社会



**もう少し具体的に**

**内閣府からSociety5.0  
のイメージビデオが公開**

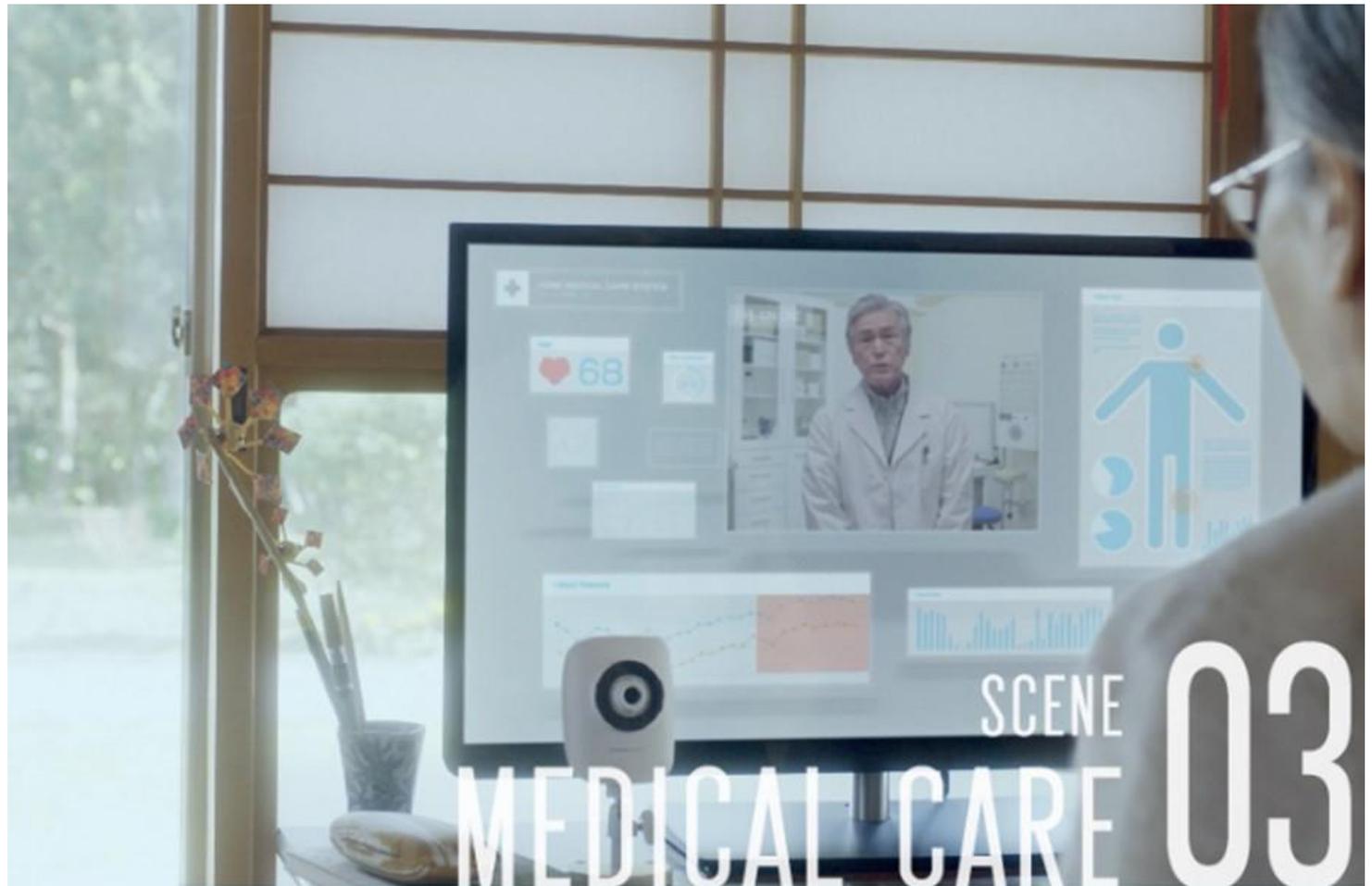
# ドローン配送・ドローンタクシー 空飛ぶマシンが僕の町にもやってくる



# AI冷蔵庫・AIスピーカ・AI家電 考える家電が快適な暮らしを約束



# 介護診断・介護ロボ・見守りサービス 医療・介護に疲れ知らずの助っ人登場



# 無人トラクター・清掃ロボ・ICT栽培 ハードな仕事もなんのその



# 自動走行バス・隊列トラック・自動運転 物流・交通シーンでの自動化



# スマートシティ データ駆動型都市計画

国交省都市局



# 2030年代の未来の姿 人づくり・街づくり・社会づくり

# 総務省

### 働く人

### 職場スイッチ

### インクルーシブ

年齢・性別・障害の有無・国籍・所得等に関わりなく、誰もが多様な価値観やライフスタイルを持ちつつ、豊かな人生を享受

### 高齢者

ARで山頂までの道のりや気象等のリアルタイムの情報をメガネ型ディスプレイに表示。

### 健康100年ボディ

補助アームや補助レッグを装着して歩行をサポート。

体全体のバランスが取れるよう、老人の身体の状態に合わせて補助ディスプレイが自動制御

### 自治体

### どこでも手続

レストランの中でも、どこにいても手続可能。

### C コネクティッド

地域資源を集約・活用したコンパクト化と遠隔利用が可能なネットワーク化により、人口減でも繋がったコミュニティを維持し、新たな絆を創る「コネクティッド(連結)」の社会

### 防災

### あちこち電力

被災地の避難施設でも安定的に電力が供給されるシステム。

地震・津波が起っても通信(中継)が途切れないシステム。

被災地の避難施設でも安定的に電力が供給されるシステム。

### 障害者

### あらゆる翻訳

資料の内容が音声で翻訳

「未来をつかむTECH戦略」(平成30年8月23日 総務省(情報通信審議会第五次中間答申))

### 金融・決済

### らくらくマネー

購入物が自動で決済。決済するだけで決済完了。

支払は完全キャッシュレス。購買履歴の作成や信用データの形成も自動化でき、家計管理・借入れや各種申告にも簡単に活用。

### T トランスフォーム

設計の変更を前提とした柔軟・即応のアプローチにより、技術革新や市場環境の変化に順応して発展する「トランスフォーム(変容)」の社会

農業はロボット耕作、配達はドローンで自動化 人手不足・高齢化を解消

買い物は完全キャッシュレス、購買履歴の作成や信用データの形成も自動化でき金融サービスが便利に

### 一次産業

農業はロボット耕作、配達はドローンで自動化 人手不足・高齢化を解消

農業者は一括の集約化による大規模農園化。高齢者など従来の農園は、家族による管理で製造される。

データを買って 我が家の3Dプリンターで製造 匠の技も簡単に再現

### 全自動農機

システムの管理も遠隔地から可能。

農業など地場のなりわいはIoT・ドローン・ロボットが担い、人手不足や高齢者の負担を解消。生産性も高まり、景観も維持。

### 公共交通

### クルマヒコキー

空陸両用タクシーが近中距離の輸送成長。過疎地や高齢者・障害者の足とや渋滞も大幅解消。

未来をつかむTECH戦略」(平成30年8月23日 総務省(情報通信審議会第五次中間答申))

### 流通・運輸

### えらべる配達

無人の自動スーパーが自宅近くに来る。

配達ドローンが自宅の配達スポットに荷物をお届け。

### サービス業

### 三つ星マシン

家庭や有名レストランの味をAIが正確かつ高速で再現する料理マシンが登場

メニューを調べると料理マシンが動かせます

### ものづくり

### 手元にマイ工場

操作しなくても、必要な材料は自動的に供給される。

買った日用品は自分で作った。日頃学んだプログラミングで世界に一つだけのデザインに加工。

ドローンが空から、ライドシェアの車が玄関に、スーパーが丸ごと近所に。色々な無人配達をネットで選べて、買い物難民も解消。

各地の素材を使いつつ、個人の健康状態も加味しながら、家庭や有名レストランの味をAIが正確かつ高速で再現。

「未来をつかむTECH戦略」(平成30年8月23日 総務省(情報通信審議会第五次中間答申))

# さまざまな分野で Society5.0

都市・地方  
エネルギー  
防犯・減災  
農業・食品

物流

ヘルスケア

(健康・医療・介護)

ものづくり  
金融・行政



# 国家予算・政策 の中にも

# Society5.0

# 内閣府 日本成長戦略／未来投資会議

## 成長戦略フォローアップ

令和元年6月

内閣官房  
Cabinet Secretariat

## 未来投資戦略

# 2018

—「Society 5.0」デジタル駆動社会への変革—

2018年5月  
内閣府日本経済再生総合事務局



## 未来投資戦略 2017

Society 5.0の実現に向けた改革

2017年6月  
内閣府日本経済再生総合事務局

## 日本再興戦略 2016

これまでの成果と今後の取組

2016年6月  
内閣府日本経済再生総合事務局

## I. Society5.0の実現



1. デジタル市場のルール整備
2. フィンテック／金融分野
3. モビリティ
4. コーポレートガバナンス
5. スマート公共サービス
6. 次世代インフラ
7. 脱炭素社会の実現
8. イノベーションエコシステム構築
9. Society5.0時代の人材育成
10. 海外の成長市場の取り込み
11. 外国人材の活躍促進

## II. 全世代社会保障への改革

## III. 人口減少下での地方施策の強化

# 成長戦略ポータル Society5.0の実現

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/keizaisaisei/portal/>



デジタル市場のルール整備



フィンテック/金融分野



モビリティ



コーポレート・ガバナンス



スマート公共サービス



次世代インフラ



脱炭素型社会の実現を目指して



Society 5.0実現に向けた  
イノベーション・エコシステムの構築



Society 5.0に向けた  
人材育成



海外の成長市場の取り込み



外国人材の活躍推進



# 総務省の「令和2年度概算要求」

## Society5.0時代の持続可能な地域社会の構築に向けて

令和2年度の総務省の  
重点施策  
概算要求

### 主な施策（抜粋）

#### I 東京一極集中の是正と地域の活性化

地方への新しい  
人の流れの創出

地域を支える人づくり、  
地域経済の活性化

#### II Society5.0時代の地域社会

Society5.0を  
支えるICTインフラ整備

産業の高度化・  
新規産業の創出

海外展開・  
国際的な政策連携

豊かなライフスタイルに  
資する生活支援

サイバーセキュリティの  
強化、ICTの安心安全  
確保

デジタル・ガバメント  
による行政の高度化・  
効率化

Society5.0を  
支える人づくり

多様な働き方の実現

**参考ですが、  
令和2年概算要求**

**104兆円**

# 概算要求総額：104兆9998億円

各省ともSociety5.0  
実現にむけ概算要求  
を提出した。

概算要求の内容は、  
公開されているので  
誰でも見れます。

要求総額の100兆円超えは6年連続。省  
庁別では最も要求額が大きかったのは厚  
生労働省。高齢化に伴う社会保障費の伸  
びを背景に元年度予算の要求額と比べて  
7000億円多い32兆6234億円。財務省で  
調整、年末の閣議決定をうけ、来年3月  
国会審議後4月から施行される。

厚生労働省	32兆6234億
総務省	17兆1928億
国土交通省	7兆1748億
文部科学省	5兆9689億
防衛省	5兆3223億
内閣府／官房	3兆2525億
農林水産省	2兆5234億
財務省	1兆8627億
経済産業省	1兆1928億
環境省	4499億
国債費	29兆7464億

**参考までに**

**ちょっと覗いて  
みましょう。**

# <経済産業省> AI・ロボット技術の開発支援

## 次世代人工知能・ロボット中核技術開発

令和2年度概算要求額 **63.0億円 (48.7億円)**

産業技術環境局  
産業技術プロジェクト推進室

03-3501-9221

### 事業の内容

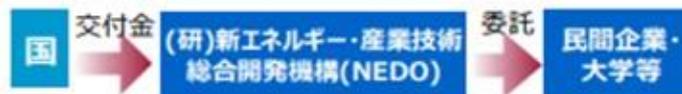
#### 事業目的・概要

- 少子高齢化により生産年齢人口が減少する中、産業競争力を強化し、顕在化する様々な社会課題を解決するキーテクノロジーであるAI技術を実世界のすみずみまで実装させていくために必要となる次世代AI基盤技術開発に取り組みます。
- 具体的には、人間と協調できるAI、実世界で信頼できるAI、容易に構築・導入できるAIに関する技術開発を行い、AIの性能だけでなく人間の知恵も共に進化する社会を目指します。
- また、「生産性」、「健康、医療・介護」、「空間の移動」分野において、AI技術や、AI技術とロボット技術を融合させた研究開発成果の社会実装を目指した、産学官連携での大規模研究開発を実施します。

#### 成果目標

- 次世代AI基盤技術開発を通じて出願された特許等を活用して、5件以上のAIシステム等の研究開発が行われることを目指します。(令和7年度目標)
- また、「生産性」、「健康、医療・介護」、「空間の移動」分野におけるAIについては、次世代AIを実装したロボットの2種類以上の実用化を含む3件以上のAI社会実装を目指します(令和5年度目標)。

#### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



### 事業イメージ

#### (1) 次世代AI基盤技術開発

AI技術を実世界に広く浸透させるために必要となる高度な基盤技術開発を実施。

##### <人間と協調できるAI>

- ・ 学習・推論結果を説明できるAI
- ・ 人とAIの対話等により相互学習を可能にする技術、等

##### <実世界で信頼できるAI>

- ・ AIの品質の保証手法や、評価手法の開発、等

##### <容易に構築・導入できるAI>

- ・ 大規模データで学習させた汎用性の高い学習済モデルの構築
- ・ 要素機能モジュールを容易に構築・拡張する技術、等



#### (2) 社会実装を目指した、産学官連携での大規模研究開発

- 「生産性」、「健康、医療・介護」、「空間の移動」分野において、AI技術や、AI技術とロボット技術を融合させた研究開発成果の社会実装を目指した、産学官連携での大規模研究開発を実施。

【生産性】 (例)農作物の需給予測      【健康、医療・介護】 (例)AI支援型健康・介護サービス      【空間の移動】 (例)交通信号制御の高度化



# <総務省> 自治体でのAI・RPA補助金

## 革新的ビッグデータ処理技術導入推進事業について

別紙 1

1

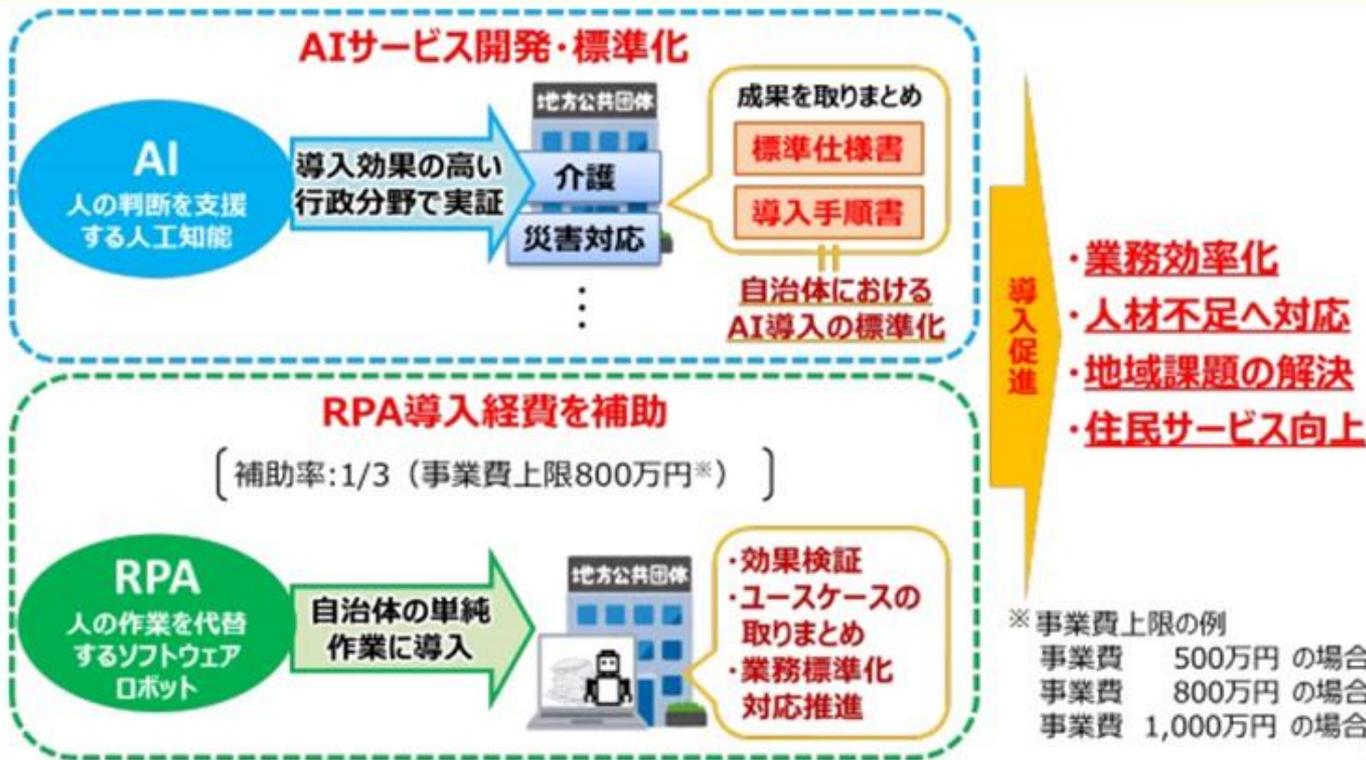
### 趣旨・目的

【平成30年度第2次補正予算：3.9億円】

- 地方公共団体において、AI・RPA等の革新的ビッグデータ処理技術の活用による業務効率化を進め、地方の人材不足を補うとともに、地域課題の解決・住民サービスの向上を目指す。

### 事業内容

- 地方公共団体における革新的ビッグデータ処理技術の早期導入を推進。
  - ① 活用が進められていない自治体行政分野へのAI導入やクラウドサービスとしてのAI導入について標準化（AI標準化）
  - ② ソフトウェア上のロボットによる業務工程の自動化(RPA)導入の初期費用を補助（RPA導入補助）



# <防衛省> 我が国の防衛と予算

**防衛省**  
Ministry of Defense





## 我が国の防衛と予算

Defense Programs and Budget of Japan

令和2年度概算要求の概要



戦闘機F-35A  
3機310億円



戦闘機 (F-35A)

戦闘機F-35B  
6機846億円



戦闘機 (F-35B)

16式機動戦闘車  
33両243億円



ところで！

Society5.0

誰が言い出した？

**第五期  
科学技術基本計  
画**

**で初登場**

科学技術基本計画は、  
政府策定する10年先を見通した5年間の科学技術  
の振興に関する総合的な計画。

第5期の科学技術基本計画は、  
平成28年1月に平成28～32年度の技術計画。

—目次—

- 第1章 基本的考え方
- 第2章 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組  
(2) 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現 (Society 5.0)
- 第3章 経済・社会的課題への対応
- 第4章 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化
- 第5章 イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築
- 第6章 科学技術イノベーションと社会との関係深化
- 第7章 科学技術イノベーションの推進機能の強化

**具体的に何が  
書いてあるの？**

ネットワーク化やIoTの利活用が進む中、世界では、  
ドイツの「インダストリー4.0」・米国の「先進製造  
パートナーシップ」・中国の「中国製造 2025」等も  
のづくり分野でICTを最大限に活用し、第4次産業革命  
とも言うべき変化を先導していく取組が、官民協力の  
下で打ち出され始めている。

～中略～

こうしたことから、ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ  
「Society 5.0」として強かに推進し、世界に先駆けて  
超スマート社会を実現していく。

**先行する？  
主要先進国の  
スローガンや政策  
って？**

# 主要国の産業政策

2011年	ドイツ	<b>インダストリー4.0</b>
2014年	アメリカ	<b>Smart America Challenge</b>
2015年	イギリス	<b>ハイ・バリュー・マニュファクチャリング</b>
2015年	フランス	<b>Industry of the Future</b>
2015年	中国	<b>中国製造2025</b>



10の重点分野 と 23品目 での製造業の高度化。  
2025年に 製造分野で強国入り  
2035年に 世界強国中位  
2045年に 世界製造強国のトップを視野。

2015年12月	日本	<b>Society5.0</b>
2017年3月	日本	<b>コネクテッド・インダストリーズ</b>

# 日本の産業政策

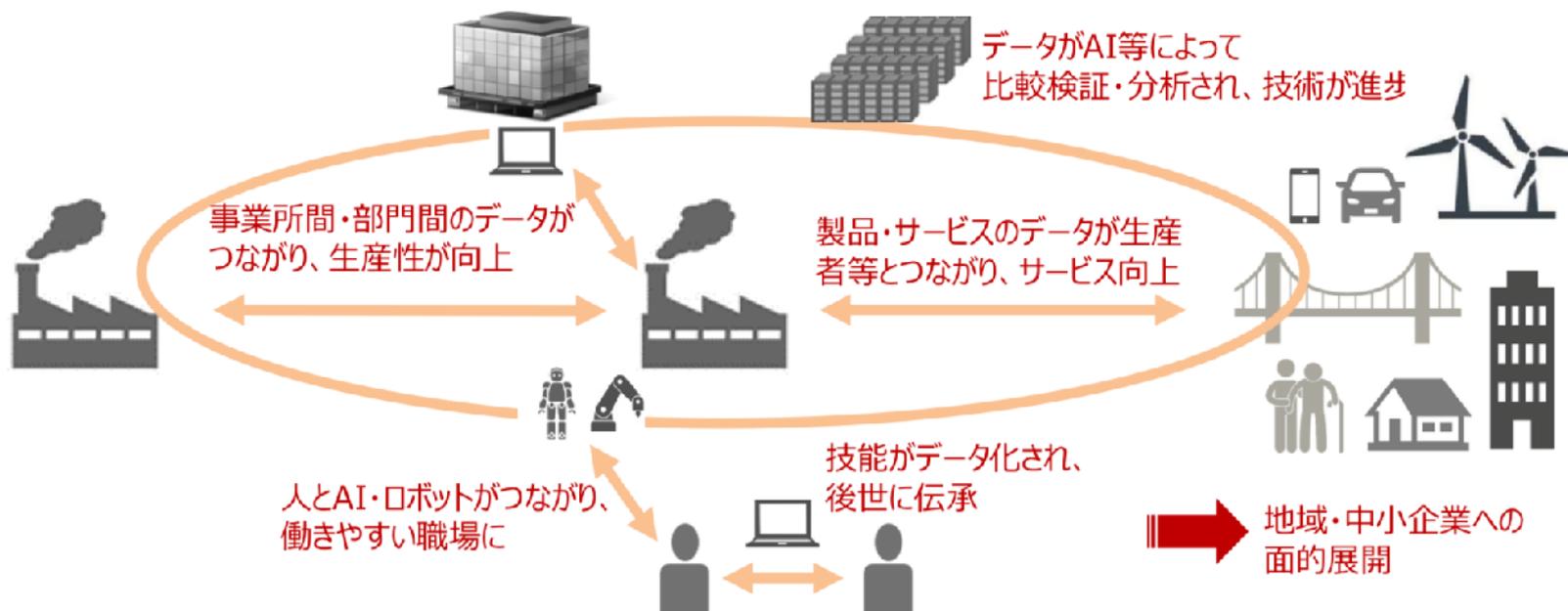
コネクテッド・インダストリーズ  
Connected Industries

って何？

# 「Connected Industries」の目指すところ

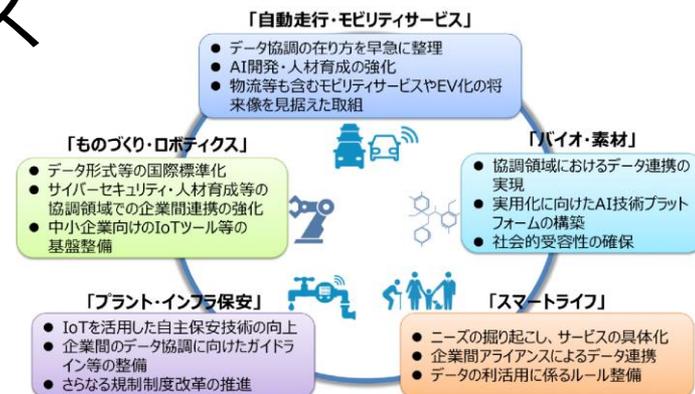
現状：企業・事業所・工場などそれぞれバラバラで管理され連携されていない。

将来：全てのデータをつなげ有効活用で技術革新、生産性向上、技能伝承で問題解決。



# 「Connected Industries」重点5分野

1. 自動走行・モビリティサービス
2. ものづくり・ロボテックス
3. バイオ・素材
4. プラント・インフラ保全
5. スマートライフ



経産省資料

# 「Connected Industries」横断的取組み

1. リアルデータの共有・利活用
2. データ活用に向けた基盤整備
3. さらなる展開 <ベンチャー・地域・中小>

# 促進策) コネクテッド・インダストリー税制



## 通称「IoT税制」

Connected Industries実現にむけ革新的データ産業活用計画。AI・IoT・企業間データ連携・生産性向上が図れるシステム全般が対象

募集期間  
2018年6月～2021年3月

コネクテッド・インダストリーズ税制 [IoT税制]

## CONNECTED INDUSTRIES

一定のサイバーセキュリティ対策が講じられたデータ連携・利活用により、生産性を向上させる取組について、それに必要となるシステムや、センサー・ロボット等の導入に対して、

特別償却**30%**又は税額控除**3%**  
(賃上げを伴う場合は5%)を適用可能。

適用期間 **2018.6.6.Wed - 2021.3.31.Wed**

■対象となる事業

- 例) 公共データや顧客・取引先等のデータを活用する場合
- センサーデータ等を新たに活用する場合
- 事業所・支店間やグループ内企業間等でデータを活用する場合

■対象設備の例

- データ収集機器(センサー等)、データ分析により自動化するロボット・工作機械、データ連携・分析に必要なシステム
- (サーバ、AI、ソフトウェア等)、サイバーセキュリティ対策製品等

本税制は業種・資本金規模を問わず幅広く適用できます



経産省資料

# 中間整理

# Society5.0

超スマート社会を目指す日本

「享受」と「プラットフォーム」

世界の産業政策も視野に見る必要  
がありそうです。

**ところで！**

**ITコーディネーター  
と関係はあるの？**

**あります**

# 国の「課題・方向」を知る

# 顧客に「気づき」を与える



その1

国の政策や施策

まとまっています

結構使えます。

政策・白書・報告書

# 国家戦略と関連資料の例

## ● 政策（政府諮問会議）

[成長戦略2019](#) など



## ● 白書（各省庁）

総務省 [情報通信白書](#)・[地方財政白書](#)  
経産省 [通商白書](#)・[ものづくり白書](#)・[中小企業白書](#)  
厚労省 [公的年金の財政見通し（財政検証）](#) など



## ● 報告書（有識者会議）

経産省 [SDGs経営／ESG投資研究会「SDGs経営ガイド」](#)  
経産省 [DX研究会報告書「2025年の崖」](#)  
総務省 [「自治体戦略2040」](#)  
金融庁 [金融審議会市場WG報告書「高齢者の資産形成」](#)  
など

# <政策> 日本の成長戦略\_内閣府



## 成長戦略フォローアップ

令和元年6月

内閣官房  
Cabinet Secretariat

## I. Society5.0の実現



1. デジタル市場のルール整備
2. フィンテック/金融分野
3. モビリティ
4. コーポレートガバナンス
5. スマート公共サービス
6. 次世代インフラ
7. 脱炭素社会の実現
8. イノベーションエコシステム構築
9. Society5.0時代の人材育成
10. 海外の成長市場の取り込み
11. 外国人材の活躍促進

## II. 全世代社会保障への改革

## III. 人口減少下での地方施策の強化

### 未来投資戦略

# 2018

—「Society 5.0」に向けた成長戦略—

2018年6月  
内閣府/日本経済再生総合事務局

### 未来投資戦略 2017

Society 5.0 の実現に向けた改革

2017年6月  
内閣府/日本経済再生総合事務局

### 日本再興戦略 2016

これまでの成果と今後の取組

2016年6月  
内閣府/日本経済再生総合事務局



## 第1章 ICTとデジタル経済は

どのように進化してきたか？

## 第2章 Society5.0が真価を

発揮するために何が必要か？

- ・ デジタル経済の進化の先にあるSociety5.0を展望する。
- ・ デジタル経済とGDPや格差を巡る議論の状況を確認する。
- ・ 我が国において必要となる改革について提示する。
- ・ ICTを活用した新たな働き方、人間とICTの新たな関係
- ・ デジタル経済の中で地方のチャンスについて展望する。

## 要約

- ・ ITシステムがイノベーションを妨げる
- ・ 2025年に大きな崖がある
- ・ 2025年までにシステム刷新が急務

## 課題

- ・ 既存システムのブラックボックス化
- ・ IT担い手の退職や高齢化
- ・ データ活用できずDX実現できない
- ・ IT予算が9割がシステム維持
- ・ 2025年には43万人のIT人材不足
- ・ SAP/ERPのサポート停止
- ・ 5G/AI/IoT/自動化へ対応遅れ
- ・ 最大年間12兆円の損失

「DXレポート」

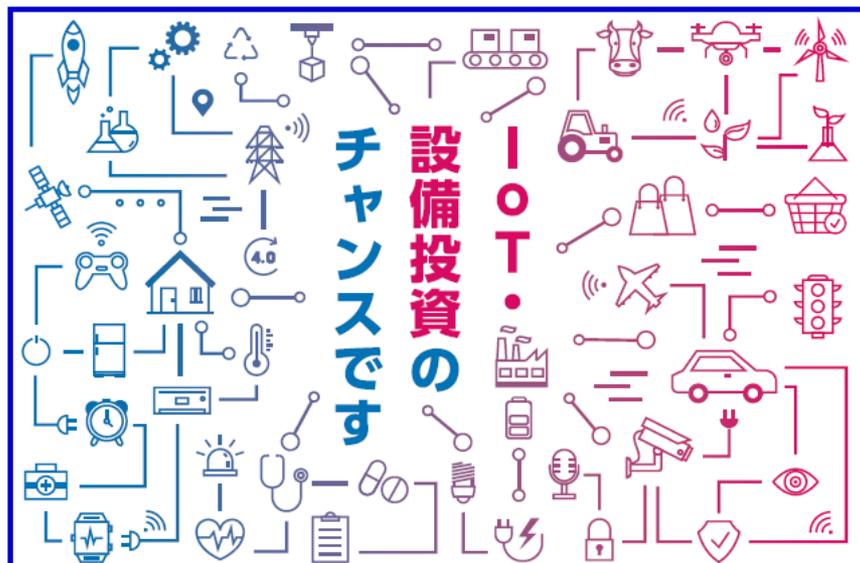
平成30年9月  
経済産業省  
DX研究会

**その2**

**「気づき」を与える**

**補助金・税制優遇・公募**

# <税制優遇> コネクテッド・インダストリー税制



**IoT・設備投資のチャンスです**

コネクテッド・インダストリーズ税制 [IoT税制]

## CONNECTED INDUSTRIES

一定のサイバーセキュリティ対策が講じられたデータ連携・利活用により、生産性を向上させる取組について、それに必要となるシステムや、センサー・ロボット等の導入に対して、

**特別償却30%又は税額控除3%**  
(賃上げを伴う場合は5%)を適用可能。

**適用期間 2018.6.6.Wed - 2021.3.31.Wed**

<b>■対象となる事業</b> 例) 公共データや顧客・取引先等のデータを活用する場合 センサーデータ等を新たに活用する場合 事業所・支店間やグループ内企業間等でデータを活用する場合	<b>■対象設備の例</b> データ収集機器(センサー等)、データ分析により自動化するロボット・工作機械、データ連携・分析に必要なシステム(サーバ、AI、ソフトウェア等)、サイバーセキュリティ対策製品等
--	--

**本税制は業種・資本金規模を問わず幅広く適用できます**

 **総務省**  
Ministry of Internal Affairs and Communications

 **経済産業省**  
Ministry of Economy, Trade and Industry

通称「IoT税制」

Connected Industries実現にむけ革新的データ産業活用計画。AI・IoT・企業間データ連携・生産性向上が図れるシステム全般が対象

募集期間

2018年6月～2021年3月

経産省資料

# <補助金> IT導入補助金2019 中小企業庁

## IT導入補助金2019

(平成30年度補正  
サービス等生産性向上IT導入支援事業)

中小企業・自営業のみならず  
ITツール導入に活用いただける  
補助金です。



自社の課題・ニーズに合わせて

様々な業種・組織形態の方にご活用いただけます!

<p>卸・小売</p> <p>定型業務の自動化 ツール(RPA)を導入</p> <p>従来Excelで管理していた 受発注管理や在庫管理、売上 管理の連携を自動化。各管理 帳簿間での転記、転記ミス の修正がなくなり、業務効率化</p>	<p>宿泊</p> <p>宿泊予約サイト 一元管理システムを導入</p> <p>宿泊予約サイトへの情報更新 を一元管理!業務時間が 削減され、顧客対応への活 力が可能に。</p>	<p>保険・介護</p> <p>情報共有・連絡 ツールを導入</p> <p>帳票・書類作成をIT化。書 類作成・提出までの時間が 短縮。早急・滞り難い情 報共有も円滑に!</p>	<p>運輸</p> <p>車両管理 システムを導入</p> <p>効率的な配車を妨げることによ り、従業員1人あたりの配車 時間短縮を実現!</p>
---	---	---	--

中小企業等の生産性向上支援  
予算額 : 100億円  
補助金上限 : 450万円  
サービス等生産性向上IT  
導入支援事業として業務  
効率化や自動化を行うIT  
ツールの導入を支援  
採択実績

2017年 14,000件  
2018年 63,000件  
2019年 集計中

2019年の募集は終了

# <補助金> 中小企業関係の概算要求 経産省

## ○令和2年予算案

中小企業小規模事業者の「経営者の高齢化」「人手不足」「人口減少」の構造変化に対応するため重点的に取組む

- ・事業承継・再編・創業等の新陳代謝の促進 232億円
- ・生産性向上・デジタル化・働き方改革 424億円
- ・地域の稼ぐ力の強化・インバウンドの拡大 297億円

## ○令和元年予算 ※直近の募集

中小企業庁での募集中の推進補助金

- 「ものづくり・商業・サービス生産性向上 促進補助金」
- 「ものづくり・商業・サービス高度連携 促進補助金」
- 「軽減税率対策補助金」※終了

なにを  
見れば良いの？

経済産業省推進資格



新エネルギー・産業技術総合開発機構  
New Energy and Industrial Technology Development Organization

Be a Great Small  
中小機構

中小企業ビジネス支援サイト

**J-Net21**

今すぐ使える情報をゲット!

経営に役立つ情報、ありますよ

**今がチャンス!** IT導入補助金とは  
業務効率化・売上アップを目的に  
中小企業の13万社を対象とした大型補助金です!

補助金で業績改革を実現!

**IT導入補助金**

2018年度のIT導入補助金の申請採択率は100%でした!  
2019年度IT導入補助金の申請もフルサポート致します!

**最大450万円**の補助金が活用可能!

IT導入補助金は  
業務効率化及び売上アップといった、  
経営力向上の強化を目的とした、  
自社の経営課題・ニーズに併せて  
様々な業種形態の方に  
補助金をご活用いただけます。

お申込みはお早めに!

公募開始  
交付申請  
受付中

IT経営マガジン

**COMPASS**

中小企業のIT活用情報を知りやすく紹介

Summer 2019 夏

特集 新時代、人口減を  
乗り切る対策は?

IT導入補助金2019スタート

発想の転換を促すIT活用

FOCUS 最新のIT [AI, IoT, RPA]

トピックス

- <税制> 海外の個人ユーザー課税法制
- <IoT> IoT活用を契機に地方創生を支援
- <Windows 7サポート終了セミナー>
- <最新働き方事情>

特別付録

中小企業経営者向け「IT活用ガイド」  
「IT活用ガイド」  
※発行日 2019年7月1日

まとめ

Society5.0の実現は、  
テクノロジーの進化とイノベーション  
で現実味をおびています。

我々としては、  
グローバル観点で国や主要国の政策/施策  
を理解しつつ、個々の分野において、その  
一端を担うべく貢献できればいいですね。

分科会2では、SDGs・Society5.0の観点を  
さらに深掘して研究・提案活動を進めて  
いきます。

# Society5.0

## 今回の関連サイト集



# 1 Society5.0の様々な公開情報

## ◎ 「Society5.0」 に関するの主な公表資料

- [Society5.0の紹介<政府広報>](#)
- [Society5.0とは？ <内閣府>](#)
- [Society5.0／実現に向けて<内閣府>](#)
- [Society5.0時代の地方／AI・ビッグデータの活用<総務省>](#)
- [Society5.0／超スマート社会の実現を目指して<JEITA>](#)
- [Society 5.0－ともに創造する未来－ <経団連>](#)

## ◎参考) 科学技術基本計画とは？

- [科学技術基本計画とは？ <内閣府>](#)
- [第5期科学技術基本計画の本文 \(H28-32\)](#)

## ◎コネクテッド・インダストリー税制

- [「Connected Industries」とは？ 経産省のポータルサイト<経産省>](#)
- [「Connected Industries」とは？ 東京イニシアティブ2017 \(2017.10.2\)](#)
- [「Connected Industries」 関連政策の進捗等について \(2018.6\)](#)
- [「Connected Industries推進・我が国製造業の課題と今後の取組」 \(2018.10\)](#)
- [コネクテッド・インダストリー税制の概要](#)
- [コネクテッド・インダストリー税制について<経産省／総務省>](#)

## 2 国の政策(政府諮問会議)

### ◎2019年の「成長戦略」と2018年報告書

- [成長戦略実行計画](#)
- [成長戦略フォローアップ \(概要\)](#)
- [成長戦略フォローアップ \(本文\)](#)
- [成長戦略ポータル](#)
- [令和元年 革新的事業活動・実行計画](#)
- [平成30年度 革新的事業活動・実行計画の報告書](#)

### ◎「経済財政運営と改革の基本方針2019」 ～令和新時代の「Society5.0」への挑戦～

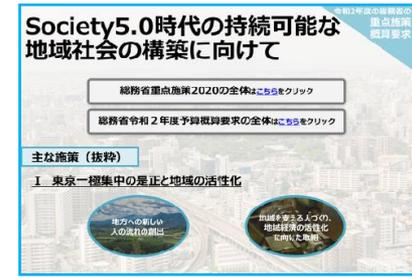
- [経済財政運営と改革の基本方針2019 \(概要\)](#)
- [経済財政運営と改革の基本方針2019 \(本文\)](#)
- [第四回経済財政諮問会議・第29回未来投資会議](#)

### ◎「統合イノベーション戦略」

- [統合イノベーション戦略2019 \(概要\)](#)
- [統合イノベーション戦略2019 \(本文\)](#)

### 3 令和2年概算要求

- [厚生労働省](#)
- [総務省](#)
- [総務省（Society5.0時代の持続可能な地域社会の構築に向けて）](#)
- [国土交通省](#)
- [文部科学省](#)
- [防衛省](#)
- [内閣官房](#)
- [内閣府](#)
- [農林水産省](#)
- [経済産業省（経済産業政策の重点）](#)
- [経済産業省の庁・局でのPR資料](#)
- [環境省](#)
- [外務省](#)



## 4 行政白書・報告書の事例

### 経済産業省の主な白書

#### ◎通商白書2019

- [通商白書（概要）](#)
- [通商白書（HTML版）](#)
- [通商白書（PDF版）](#)

#### ◎ものづくり白書2019

- [ものづくり白書（概要）](#)
- [ものづくり白書（PDF版）](#)

#### ◎中小企業白書2019・小規模企業白書2019

- [中小企業白書・小規模企業白書の概要（中小企業庁）](#)
- [中小企業白書（概要・HTML版）](#)
- [中小企業白書（本文・PDF版）](#)
- [小規模企業白書（概要・HTML版）](#)
- [小規模企業白書（本文・PDF版）](#)

#### ◎IPA（情報処理産業推進機構）

- [IT人材白書（概要）](#)
- [IT人材白書（本文）※amazon](#)

## ◎経済産業省の各種報告書一覧

- [審議会・研究会の報告書一覧](#)
- [審議会・研究会の直近の開催報告](#)

## ◎経済産業省の気になる報告書

- [DXレポート～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～（サマリー）](#)
- [DXレポート～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～（簡易版）](#)
- [DXレポート～ITシステム「2025年の崖」克服とDXの本格的な展開～（本文）](#)
  
- [SDGs経営／ESG投資研究会「SDGs経営ガイド」](#)
  
- [ロボットによる社会変革推進会議 報告書（概要）](#)
- [ロボットによる社会変革推進会議 報告書（本文）](#)
- [自動走行ビジネス検討会「自動走行の実現に向けた取組報告と方針」（要旨）](#)
- [自動走行ビジネス検討会「自動走行の実現に向けた取組報告と方針」（概要）](#)
- [自動走行ビジネス検討会「自動走行の実現に向けた取組報告と方針」（本文）](#)
  
- [「未来の教室」とEdTech研究会-第2次提言（概要）](#)
- [「未来の教室」とEdTech研究会-第2次提言（本文）](#)
  
- [2050経済社会構造部会・人生100年時代に対応した「明るい社会保障改革」の方向性](#)
- [2050経済社会構造部会・第四次産業革命に向けた産業構造の変化と方向性](#)
- [変革の時代における人材競争力強化のための9つの提言](#)

## 総務省の主な白書

### ◎情報通信白書2019

- [情報通信白書（PDF版目次）](#)
- [情報通信白書のポイント](#)
- [情報通信白書の概要](#)
- [情報通信白書の本編全体（PDF33MB）](#)

## 国土交通省の白書

### ◎国土交通白書2019

- [国土交通白書（概要）](#)
- [国土交通白書（本文）](#)

### ◎観光白書2019

- [観光白書（概要）](#)
- [観光白書（第I部 観光の動向）](#)
- [観光白書（第II部 すそ野が広がる観光の経済効果）](#)
- [観光白書（第III部 平成30年度に講じた施策）](#)
- [観光白書（第IV部 令和元年度に講じようとする施策）](#)
- [観光白書（資料集）](#)

## 国土交通省の気になる報告書

- [総合物流施策大綱（2017年度～2020年度）概要](#)
- [総合物流施策大綱（2017年度～2020年度）本文](#)
- [総合物流施策推進プログラム](#)

## 厚労省の気になる報告書

- [公的年金の財政見通し（財政検証）](#)

## 金融庁の気になる報告書

- [金融審議会市場WG報告書「高齢社会における資産形成・管理」（本文）](#)
- [金融審議会市場WG報告書「高齢社会における資産形成・管理」（資料）](#)
- [金融審議会市場WG報告書「高齢社会における資産形成・管理」（概要）](#)

## 総務省の気になる報告書

- [自治体戦略2040](#)
- [地方財政の状況（概要）](#)
- [地方財政白書（HTML版）](#)
- [地方財政白書（PDF版）](#)
- [地方財政白書（ビジュアルHTML版）](#)
- [地方財政白書（ビジュアルPDF版）](#)

**FIN**

**ITCイースト東京 分科会2**

# **コレクティブ・インパクト**

**2019年11月18日  
ITCイースト東京  
藤井新吾**

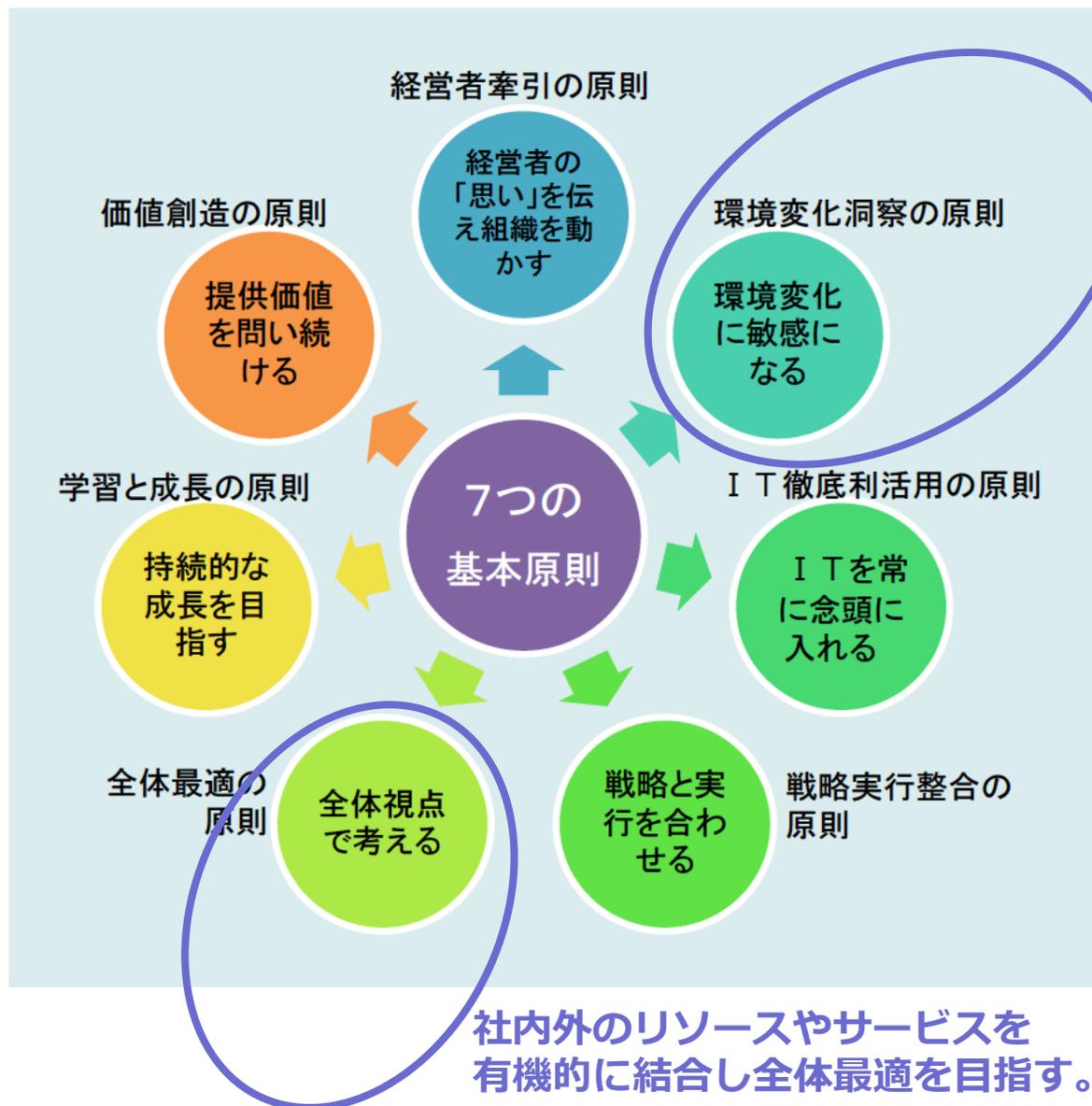
**SDGs 世界はどう動いている**

**Society 5.0 社会はどう変わる**

**コレクティブ・インパクト**

**私たちコーディネータの振る舞い  
が生む出すインパクトです。**

**確実性が低く  
合意が難しい  
案件が増えている昨今  
認知力の感度をより高める  
必要がある**



常に変化へのアンテナを張り、変化の先にある本質を見逃さない。

コレクティブ・インパクトと関連する原則

社内外のリソースやサービスを有機的に結合し全体最適を目指す。

## レバレッジ

基本原則	概要
(1) 変革への本気度を示す(経営者のリーダーシップとコミットメントの原則)	経営者は、変革の軸となる部分を、自らの言葉で表明し、自ら動き伝える。
(2) 組織を超えて共創する(オープンマインド醸成の原則)	経営者は、ステイクホルダーが組織横断で「共創」するための環境を構築する。
(3) 変革を続け成長する(SPDLI経営サイクルの原則)	SPDLI経営サイクルの観点で気づきを拾うことで、持続的成長を促す。
(4) 変化を捉え行動に移す(変革認識3Aの原則)	変化への「気づき」は意識的に捉え、可視化し、実行に落とし込む。
(5) 情報を見える化し活用する(変革のための情報共有・知識集約の原則)	変革のための情報を共有し、知識を集約する仕組みを導入する。
(6) 事実から本質を見極める(本質追求の原則)	意思決定の納得性を高めるために、事実情報から自社の課題の本質を見極める。
(7) 社会からの要請に応える(企業価値創造の原則)	ステイクホルダーから共感を得る経営を行うことで、社会からの要請に応え社会的貢献を果たす。

## 変化の理論

## コレクティブ・インパクト と関連する原則

緑の文字：意識の広がり

図表 「私」と「仕事」と「世の中」の関係図



これを促進 (ESG投資等) するには、**変化を捉えた共通理解のための「データの活用」**が、経営者の意識に織り込んでいく必要がある。

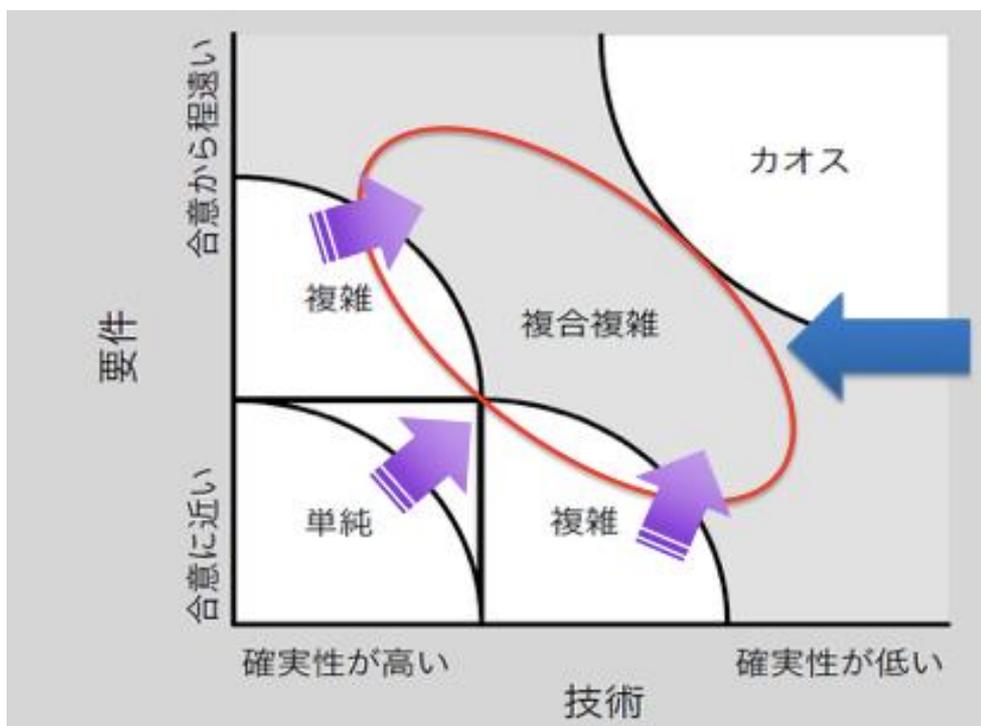
データの買い手として、助成金などのニーズを知ること、**「データの価値」**を客観的に計測する。

- ✓ 「世の中」のビジョンは、中期的に実現したいものはアウトカム、より長期に時間がかかるものはインパクトと呼んでいる。
- ✓ 「仕事」と、実現したい「世の中」をつなぐ具体的プロセスを明示化したものが、「変化の理論」(Theory of Change)である。
- ✓ この「変化の理論」は、「～することで」(仕事) → 「…をかなえる」(世の中) という図式で表現される。
- ✓ しかし、我々の求める仕事の目的には、このように「自立」や「活力ある」といった曖昧で特定のマインドセットに関わるものが、圧倒的に多い。
- ✓ そのため、企業やITCは、この「変化の理論」について、机上の思考だけでなく、そこにある感情や身体感覚もリアルに併せたシステム理解を必要とする。
- ✓ 実際に、仮説的にやってみることや試行錯誤する中から、最もレバレッジの効いた「ツボ」を発見していくことである。

企業やITCにとっての「新しい選択肢」がここに生まれる。

社会的課題を解決するとき、個々の団体がそれぞれ特化したアジェンダに沿って活動を進めることがほとんどでした。

### 複合複雑化するプロジェクト

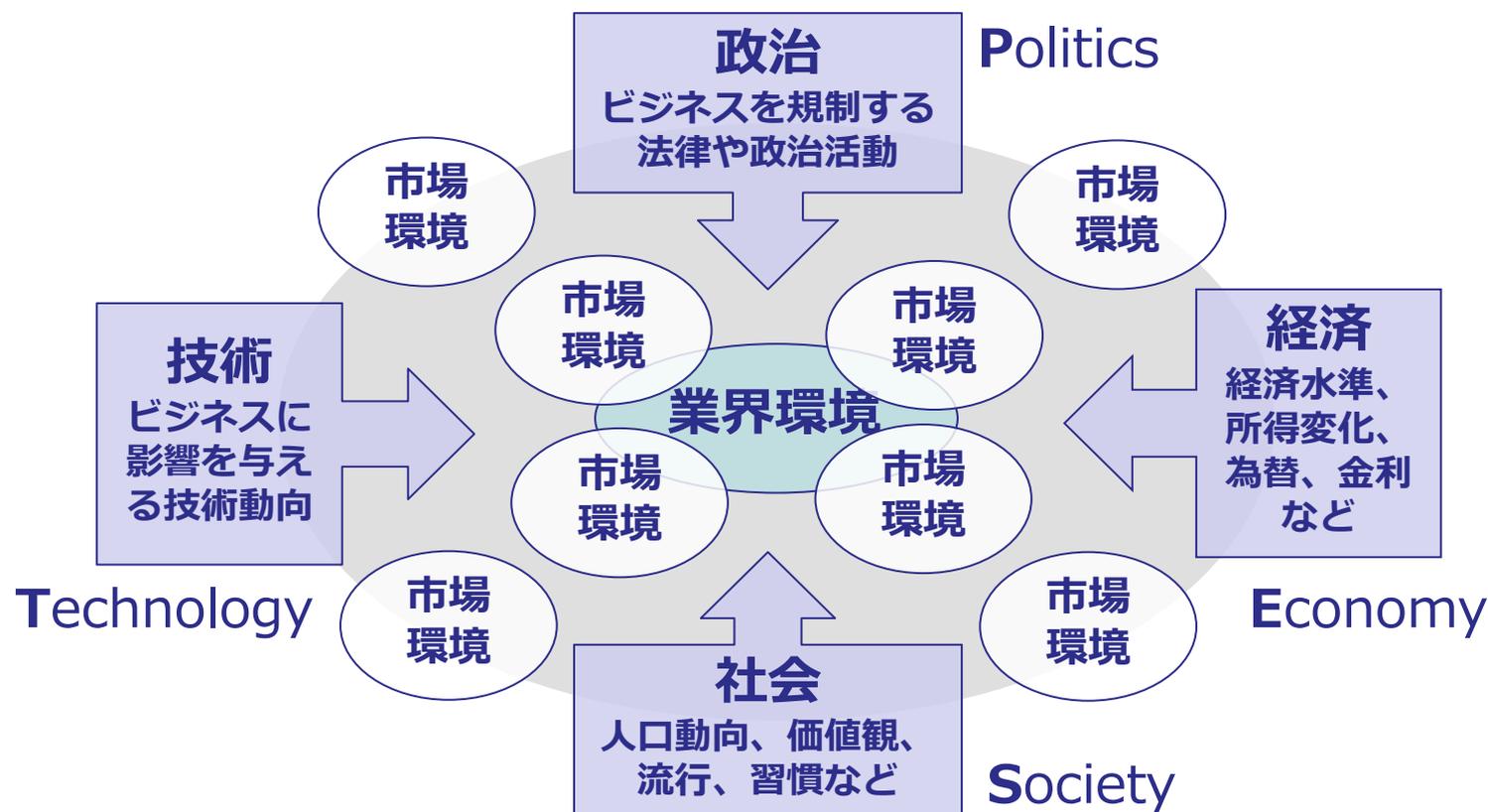


現代社会では、多くのプロジェクトが、この領域へシフトしている。

個別アプローチにするだけでは解決できなかった社会的課題を解決する。

単なるコラボレーションに留まらず、NPOや企業、行政などのセクターを超えて、共通のアジェンダをもとにコミットする、コレクティブ・インパクトが注目されるようになった。

## PEST分析によるマクロ経済の分析への適用イメージ



## こういったデータが「あるべきか」考えるのが、ITコーディネータの役割

業界環境の枠を超えた、市場環境の共創機会を捉えるための「データの活用」が、企業グループや業界にとらわれない**企業間連携の筋書き**（共通のアジェンダ）を生み出し共有している。

このデータは、共有した市場において**客観的に計測可能なものである必要がある**。126

① **共通アジェンダ** (Common Agenda)

全ての参加者が変革に向けたビジョンを共有していること

ガバナンス  
モデル

② **共有測定システム** (Shared Measurement Systems)

データ収集と効果測定により、取り組みを評価するシステムを共有していること

③ **相互補強活動** (Mutually Reinforcing Activities)

参加者個々の強みを活かし、取り組みを相互に補完し合えること

ビジネス  
モデル

④ **定期的コミュニケーション** (Continuous Communication)

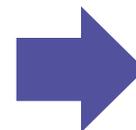
信頼形成に向け継続的かつオープンなコミュニケーションが行われていること

⑤ **バックボーン支援組織** (Backbone Support Organizations)

取り組み全体をサポートする独立した組織体があること

組織  
モデル

= 経営者やITCが、「変化の理論」で、「レバレッジ」が起こしやすい状態



**Society 5.0**